

## 難民救援 ケニアの難民に古着とカンパン届く

日本福音ルーテル教会婦人会連盟の呼びかけに応じて、全国の教会から、義売の倉庫にこどもの古着が送られてきた。

また、ニュースを読んで協力してくださったかた、それに包帯3箱、注射器1箱も合わせ合計470箱を積み込んだ。



積み込み立ち合った宝珠山代表と松本



9月10日 カクマの難民キャンプについて、配布された子ども古着

昨年から墨田区にお願いしていたカンパン1万5千食の資糧を6月に受け、集めた古着と共にコンテナ1台に積み、6月29日横浜港を出航。このたびは区のご紹介で、東京センチュリーライオンズクラブが、船賃を寄付してくださったことを感謝いたします。

当初は、カクマダガリの方々の難民キャンプにおいて配布する予定でしたが、税関上の問題などで、1ヶ所にすることにになり、ルーテル世界連盟理事担当がキャンプ運営の責任を持つ、カクマダガリへ送ることになりました。

来年も可能であれば、今度はダガハリキャンプに送りたいと考えています。それまでに今回送ったカンパンと古着がどれだけ役に立っているかを思い評価し、必要を再確認いたします。古着を送ることに協力したい、何人の人からお申し出を受けていますが、いざいざお持ちください。



6月8日 午前8時 国技館の倉庫から墨田区のカンパントラックに積み込み、朝稽古を終えた方たちが饗待している。

## 自立への支援 貧しい人々への直接の支援「トリクルアップ・プログラム」の試み Trickle Up Program

「なぜ、こんなに援助を続けているのに発展途上国の人たちは貧しさから抜け出せず、反って貧富の差が増すばかりなのでしょう」

今までの援助の仕方は、一定額の援助をすれば、おのずと、滴が上から下に落ちるように、社会の底辺にいる貧しい人もその恩恵を受けようという考えに基づいてきました。しかし、現実はそのようではありません。そこで、トリクルアップ（滴が上がる）プログラムは、12年前にアメリカのワード夫妻により考案され、貧しい人が自立の心を持つ人たちのさまざまな事業が続けられています。

トリクルアップ・プログラムは次のように行なわれます。  
①世界各地で開発援助に携わる国連のボランティアや民間援助団体（NGO）から、貧しい人々に仕える意志のあるコーディネーターを募集します。

②貧しいが、自らの手と頭で考え、収入の得られる小さな事業を始める意志のあるものが、5人以上でグループを作り、その事業計画をコーディネーターに提出する。援助を受ける条件は、グループの者が、失業者も仕事をを持つ者も、大人も子どもも、3ヶ月の間に、その事業のために1000時間の労働することです。援助金は、そのグループのリーダーに100ドルの小切手で直接に支払われます。

貧しい人々の潜在的な能力に信頼し、彼らが自ら置かれた状況のなかで、知恵を出し汗を流して努力するのです。チャンスに付けた人々への支援の方法として最善です。



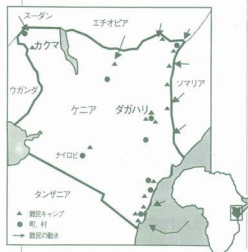
その事業は、自転車の修理、封筒づくり、機織りづくり、養鶏、古自動車の鉄板からのボルトづくり、野菜づくりなどさまざまです。成功した人たちは事業を拡大し、自らの手で子ども達を学校に通わせることができるようになっていきます。

わかちあいプロジェクトの自立支援の方法として、トリクルアップの方法を参考にしようと考え、今までに、四千ドル（44万円）、中国、フィリピン、ネパールの40の事業を実験的に支援しています。近い内に委員がフィリピンに出かけ、プログラムの実際を調査する予定です。

この方法に確信をもちましたら、広く皆様に協力をお願いしたいと考えています。

## わかちあいプロジェクト募金 ソマリア、スーダン難民のため、その他

昨年の11月からソマリアの難民救援のため募金を開始し、今までに救援物資の空輸、2回分の費用の支援と、ケニアの難民キャンプへ物資の支援することができました。今後とも東アフリカのソマリア、スーダン、エチオピアを救援の中心に募金を行います。4月以降の募金と4月までの繰越金を加え、現在200万円が手元にあります。今後、300万円の募金を目指し、ケニアのソマリア、スーダン



難民への支援をいたします。

スーダン難民を中心とするカクマキャンプはLWF（ルーテル世界連盟 Lutheran World Federation）がキャンプ運営の責任もっています。今年の夏3週間おわり、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）東京事務所が主催するカクマでのボランティア活動に5人の学生が参加しました。吉田敏さんもおの一人で、カクマの植林プロジェクトの難しさに、①水不足 ②資金および技術力不足 ③難民に対する農耕道具の私有化 ④環境の重要性に対する認識不足をあけています。このプロジェクトは難民だけでなくキャンプのあるツルカナ地域の人が恩恵を受けるように計画されています。

その他、職業訓練、資費などにも取り組んでいます。エチオピアからの難民もあり、彼らのある者は、都市での中流の生活を捨ててやって来た人々です。

「難民も私たちと同じように、物資の必要と共に、こころの触れ合いと支援が必要で」 学生の報告が印象的でした。



1万5千本の苗木が植樹に育つカクマキャンプ 吉田敏氏撮影

### 募金の目的と目標額

- 難民救援のため 高価な日用品の購入費用 スーツの購入費用 職業訓練、その他キャンプからの要請のプログラム
- 自立への支援のため
- その他の緊急援助

募金目標額 500万円

### 募金の送金先

郵便振替口座  
わかちあいプロジェクト募金  
東京3-762258

### お知らせ

◇わかちあいプロジェクトの例会を8月を除く、毎月第三水曜日の午後7時から行なう予定です。皆様、歓迎いたします。ご出席ください。

◇わかちあいプロジェクトのコーヒーと紅茶の益金の内、150万円をわかちあいプロジェクト募金に繰り入れました。その中から、トリクルアップによる自立支援とタイの少女救援のために一部をすでに支援しています。

◇またニュースの発行や郵送、海外での調査活動（援助に関する）など事務経費はできるだけ皆さんの募金に頼らないうで益金の繰り入れのなから用いるようにいたします。

◇LWFウガンダで農業指導者を募集！ 関心のあるかたは事務局までご連絡ください。

◇ソマリア救援の空輸活動へご協力ありがとうございます。8月11日付の現地からの報告によりますと、昨年4月からのフライトの回数は、1,416回運搬量は423,897トン、要した費用は、26億円です。

◇トランスフェア（公平貿易）の日本の働きに責任を持つ、トランスフェア・ジャパンの設立を準備中で、11月中にも発足の予定です。

◇コーヒーと紅茶は多くの皆様から好意的に受け取っていただき感謝しています。コーヒーは現在までに約9トンが売れました。ドイトでは6月にトランスフェアのコーヒーの百万バツク目、ヴァインゼッペー大減価に寄贈され推進のメッセージをいただいたいます。

す。10月には四百万バツクに達することです。（ドイトの場合、1バツクが250グラムですから、1千トンに達したわけです）

### クリスマスチャリティーコンサート 親子で楽しめるアンサンブル四重奏 (ピアノ、フルート、クラリネット、ファゴット)

出演：あんさんぶる舞臺節より  
日時：12月13日(月)午後7時  
会場：日本福音ルーテル聖パウロ教会  
入場カンパ：大人 1500円  
高校生—中学生 500円  
小学生以下無料  
(ただし父兄同伴のこと)

当日売りも予定していますが、出来るだけ電話、ファックス、ハガキでご予約ください。入場カンパは全額募金会計にいたします。

発行所 わかちあいプロジェクト 〒130東京都墨田区江東橋の3-3-1 電話 03-3634-7867 FAX: 03-3634-7808  
編集者 松本 傑 郵便振替口座：わかちあいプロジェクト 東京8-758331（コーヒー・紅茶会金振込用）  
わかちあいプロジェクト募金 東京3-762258（募金用）